

チーム えがお

【学校教育目標：たくましく生きる児童の育成】

・やさしい子 ・考える子 ・元気な子 ・やりぬく子



発行者：校長 岡田 達也

～ えがお かがやき かんばる 学校 困うえんだん「チーム北川」～

「海の学習」で力を合わせることのすばらしさを学ぶ！②

「海の学習」ショット あれこれ！ (2回目)



授業でも「つなぐ」「つながる」ことが大切！

子どもたちが、楽しく学校生活を送るために必要なことはたくさんあります。例えば、安心して過ごすことができる集団（環境）や学校生活の中で多くを占める授業が楽しい、自分の良さを感じることができるなどなど。一言で言うと、子どもたち一人一人に「居場所がある」ことです。

そのために、指導者である私たち教職員が力量を高めていくことができるよう、計画的に研究授業を行い、全教職員が一丸となってよりよい授業を目指して取り組んでいます。先週の金曜日の2校時には、4年生で算数の研究授業を行いました。小中学校連携のために、小北中学校や小田小学校の先生も参観してくださいました。

私たち教師が、授業研究で学んだことを、日々の授業実践に生かしていくことがとても大切です。放課後は、よかったこと、改善すべきことなど、指導する側の在り方について、いろいろと話し合いました。

【今回の「学び」を生かすために】

- ①「わからない」「できない」ことを大切に授業を進める。併せて、「教えて」と言える集団に育てる。
- ②授業は、教師と子どもの関係だけでなく、子ども同士の関係が大切である。そのためには、きちんと相手を見て話す、聞く、そして反応する（発表した子へ自分の意志を示す）ことを指導する。
- ③教師が子どもたち一人一人の考えをつなぐ（友達の考えについてどう思うかを問う）、子ども同士がつながる（つなげて発表する）ことで、より深い気づきや理解が生まれる。

